

よめばやさしくなるしやまのこうほうし



福祉くまの

あけまして
おめでとうございます



特集

新年のごあいさつ

熊野市社会福祉協議会防災訓練(報告)

NO.80 平成30年12月28日発行



新年のあいさつ



熊野市社会福祉協議会
防災訓練

期日 平成30年11月10日(土)
会場 熊野市保健福祉センター
対象 熊野市社会福祉協議会

常勤職員(43名参加)



あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、清々しく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は熊野市社会福祉協議会の事業活動に多大なるご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃より市内各地にて地域福祉の向上にご尽力いただいている皆さまに、併せて感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、積年の課題でありました大きなことを幾つか始めることができました。ひとつは「法人後見事業」です。このことにより社会的に弱い立場の方々の権利擁護を一層強化いたしました。

次に市内の社会福祉法人(ケアホーム熊南様、たちばな園様、紀南ひかり園様・グリーンプラザ様、井戸保育園様・ひまわり保育園様、熊野市社協)が協働して、社会貢献を行う「社会福祉法人連絡会」の発足です。昨今の社会福祉法人への大きな期待に応えるべく、話し合いを重ね「熊野市食糧及び物品提

供事業」を開始いたしました。どちらの事業も、社会の中で不自由をされている方々の、生活を少しでも安心、安定したものとなるよう取り組んでおります。併せて、日頃地域の困りごとに対して、気に掛け、ご支援いただいております、地域の皆さまのご負担も軽減したいと考えております。

安心といえば、災害時の当法人の社会的使命であります「災害ボランティアセンター」をはじめとする、法人全体での「防災訓練」も開始することができました。まだまだ反省点も多く、職員ひとりひとりが社会的な期待について確実につかみ切れていない感があります。今後一年二回の頻度で実施し、訓練内容の充実と共に法人として成長し、皆さまに少しでもご安心いただけるよう尽力いたします。そして、これらの事業を含む、全ての事業の更なる充実を目指し、今年も役員一同努力する所存です。

最後に、新たな年が皆さまにとって、幸多きものでありますようご祈念申し上げます。

会長 濱田秀人

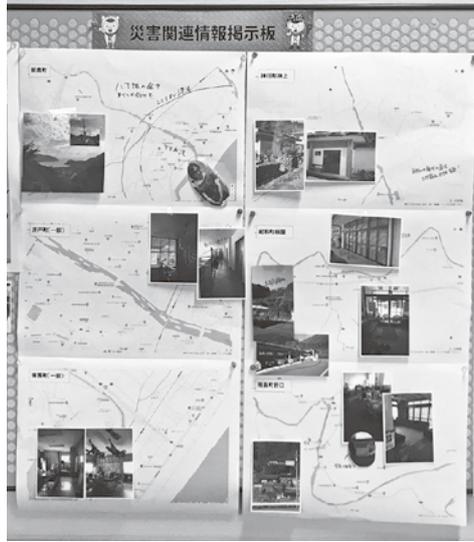
役員一同



7年前の被災以来、特に災害ボランティアセンター関連の検討や、講座を開催してきましたが、職員規模の大きな社会福祉協議会だからこそ、有事の際にはボランティアセンター以外にも被災したまち、人々のためにできることがあると考え、この度の防災訓練実施に至りました。ボランティアセンターは更なる充実を目指し、新たに考える。社協が担うべきこと。を皆で模索しながら、併せて職員の質も向上させていきます。



法人運営 ・総務班



通常の総務業務を有事の際にも必要最低限維持し、職員が災害対応業務に注力できるように環境を整えることを基本に訓練内容を検討、実施しました。また、法人全体の対応力を高めるべく、災害に関する情報収集と他部署への提供を行いました。同時に、住民やボランティア、その他の皆さまの利便性向上のために、ホームページ（訓練時間のみ別ページで公開）による情報発信にも力を入れました。



災害ボランティアセンター ・総務、ボランティア調整班



今回は普段、業務で災害ボランティアセンターに関わらない部署の職員に対し、地域福祉系の職員がセンター運営の概要や、コーディネート業務についてレクチャーしました。有事の際に担当部署の職員が参集できるとは限りませんし、担い手が多いほど充実したセンター運営ができます。後半はそれを踏まえての実地訓練も行いました。災害を最小限にとどめ、たとえ被災したとしても、いち早く日常を取り戻すことができるよう、日ごろからの備えを充実させるとともに、将来的には地域住民との協働による災害ボランティアセンター運営を目指して、着実に訓練を積み重ねていきます。



災害ケアセンター ・ライフケア班 ・避難所ケア班 ・ボラセン支援班 ・サービス提供班



この防災訓練での法人の意義を新しく考える部署で、訓練を通して、災害時社協として何ができるのかを模索していきます。今回は炊き出し訓練、避難所支援訓練、ボランティアセンター支援訓練、通常のサービス提供にあたっての要支援者情報の活用訓練を実施しました。介護保険事業、障がい福祉事業など、災害時にも必要なサービスを効率的に提供しつつ、社協にしかできないことを考え、実行し、法人の存在意義を社会に示していけるよう今後も検討実施を重ねます。



みんな
いっしょに
大きくな~れ!

いな



ボランティアセンター
イメージキャラクター
いな

熊野市ボランティアセンター
登録ボランティア数
団体：34 個人：23名
合計：1,736名
平成30年11月30日現在

誰かに話を聞いてもらえると、心が満たされませんか？

今回は、“聴く”ことを通して活動されている、ボランティアグループを紹介します。

活動グループの紹介

おはなしボランティア「さえずり」

施設や一人暮らし高齢者宅等を訪問し、相手の様々なお話を聴きます。身体のこと、生活のことや、その他いろいろ…。ただ単に聞くのではなく、ゆっくり丁寧に向き合い“聴く”ことを大切にされています。

「時間的に山間部といった奥地に活動範囲を延ばせないことが辛い…」と漏らす代表の竹平さん。それでも、話を聞いてもらって、心のつかえが取れた人は数知れず。

相手の話に耳を傾け、人に寄り添いながら活動されている「さえずり」を熊野市ボランティアセンターはこれからも応援します。

“傾聴”で誰かのお役に立ってみませんか？

「さえずり」の活動に興味があれば、当センターまでご連絡ください。



会 員：20名

活動日：月1回程度 ※依頼があった時、随時活動しています。

代 表：竹平野里絵さん（飛鳥町）



くまのそば打ち愛好会 大活躍！

12月1日（土）、熊野市保健福祉センターにて開催された「赤い羽根共同募金もちつき大会」において、模擬店「手打ちそば」を行いました。

開始と同時にブースは大盛況！メンバーが丹精込めて打ったそばは瞬く間に完売。

寒空の下、温まる一品でした（^^）

担当者より一言

2018年は地震や豪雨等、自然大災害が頻発した一年ではなかったでしょうか。

“勝負の大半は準備で決まる”格言的によく聞かれる言葉ですが、災害対策においても、日常からの“備え”が重要です。しかし、近年の災害は日頃の備えを上回るパワーで、私たちは自然災害の恐ろしさをまざまざと見せつけられています。

防災対策に“十分”はありません。一人一人が防災意識を持ち、必要な対策を続けましょう。

本年もどうぞよろしくお願いたします _(.)_



11/6 第7回熊野市社会福祉大会 (熊野市民会館)



社会福祉の発展に功績のある方々への顕彰と、福祉関係機関及び団体等がそれぞれに持つ役割や責任を再確認し、今後ますますの活動強化と充実を誓い合いました。
受章者は以下のとおりです。(敬称略)

熊野市社会福祉協議会会長表彰

◆民生委員児童委員功労者

岡本敬子 (金山町)、門泰央 (木本町)、栗須泰子 (紀和町)
仲本静 (木本町)

◆社会福祉功労者

大桑益美 (五郷町)、大吹岑生 (波田須町)、
倉本良久 (五郷町)、辻本吉則 (五郷町)
間部知佐美 (磯崎町)、山中萬壽美 (磯崎町)

熊野市社会福祉協議会会長感謝

嶋芙美子 (飛鳥町)



こんなことやりました

12/1 赤い羽根共同募金もちつき大会 (熊野市保健福祉センター)



メインのもちつき体験の他、毎年ご好評いただいているバザー、そば、豚汁などの模擬店も大好評でした。また、募金していただいた方を対象とした、くまちゃんクイズも登場し、空き時間を利用して、子どもはもちろん大人にもお楽しみいただきました。

12/3 生活支援サポーター養成講座 (熊野市保健福祉センター)



高齢者のちょっとした困りごとを住民参加による生活支援サービスで解決する新事業「生活支援サポート事業」における支援者を養成するために開催しました。

15名の方が受講され、新たに7名の方がサポーター登録されました！

第12回 社協ふれあいミニフェスタ in 遊木 遊木漁民センター前

2/16 (土)



「地域福祉を考える1日」として、夏季に開催する社協ふれあいフェスタの“地域版”として、年1回地区を選定して開催しています。今回は遊木地区で、地元地区社協と協働のもと、模擬店や楽しいイベント盛りだくさんです。是非お越しください。

※写真は今年の社協ふれあいミニフェスタ in 両又の様子です。



やります

おまかせ

無料法律相談所

ください

◇開設日 1月15日(火)

2月19日(火)

◇相談員 片山 眞洋 弁護士

◇会場 熊野市保健福祉センター
1階相談室

◇時間 13時から

◇相談内容 民事全般(相続、離婚、雇用、他)

※開催日前日の15時までにご予約ください。

※相談は一人15分程度で予約順です。

担当 地域福祉係 西



リサイクル登録制度

家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、また、「譲って欲しい」といった品物を登録し、地域でリサイクルする制度です。お互いに譲り合う当制度を是非ご活用下さい。

当制度に関する情報は、熊野市保健福祉センター玄関にある掲示板または、熊野市社会福祉協議会ホームページ(熊野市社協で検索) リサイクルのページ)でご覧ください。

困ったときは



リサイクルのページ



おたがいさま

担当 地域福祉係 西

三重県共同募金会 会長表彰・感謝状

10月31日(水)三重県総合文化センターで第67回三重県社会福祉大会が開催されました。熊野市からはイオン熊野店様と遊木地区社会福祉協議会様が、共同募金運動に功労があった団体として、三重県共同募金会会長より表彰及び感謝状を受け取りました。



三重の赤い羽根 「募金百貨店プロジェクト」

この活動は赤い羽根共同募金の一環として、地域の商店等での売り上げの一部を基金としてご協力いただき、社会に貢献していただくことというものです。買い物をする人は買い物をして募金、お店の人は売り上げの一部を募金としてその募金は地域の福祉活動で活かされます。この3者がすべてウィンウィンという関係が成り立つ素晴らしい取り組みを、これから市内の商店様を回ってご提案させていただきますので、何卒宜しく願います。

募金百貨店は
ココカラ



担当 総務係 檜作

くましゃん クッキー誕生

熊野市社協のイメージキャラクター「くましゃん」の「メイプル薄焼きクッキー」が糸川屋製菓さん(有馬町)とタイアップして誕生しました！市内の道の駅などで販売予定です。

お菓子もよろしく
お願いします！



謎

暗号の謎を解け!

mission kumapossible



ハッピーニューイヤー！
ハロー！クマサン・ハントだよ！前回の暗号は解けたかな！？
当選者は、門真奈美さん、徳田靖兒さん、西優磨さんだよ！
おめでとう！！それじゃあ今回の暗号だ！

問1 さ い ひ ← [?]

問2 3 + 3 - ス = [?]

前回の答え 「0」(○になったところの数)、「m」(1mは1,000mm)

「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」。何事もはじめにしっかりと計画を立てて、それを実行することが大切である。昔の人は良いことを仰います。計画通りにいかなくてもいいんです。まずはやるべきこと、決意が大事なんです。ということ、亥年の年男として、例年より盛った感じの計画を立てましょうか！できなくてもいいんです！
(あきひと)



あとがき

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 8,943 世帯
人口 17,096 人
(男7,861人/女9,235人)
65歳以上 7,284 人
(男2,996人/女4,288人)
熊野市の高齢化率 42.61%
(平成30年12月1日現在)



暗号が解読できたら、ハガキに答えを2つ書いて、(感想も書いてくれるとうれしい♪)
〒519-4324
熊野市井戸町1150番地
熊野市社会福祉協議会
福祉くまの係へ
平成31年1月30日(水)までに届くように送ってネ！
正解者の中から抽選で3名にステキなプレゼント！
みんなの挑戦待ってるよ!!

